



あそびと絵本

11か月～1歳頃の子どもは、大人がカーテンにかくれて「バア！」といいながら顔を出すと、とても喜んでくれます。

また、「まてまて」と追いかけてもらうあそびも大好きです。逃げては振り返り、追いかけて来ていることを確認してまた逃げるといった単純な繰り返しが喜びます。「いないいないバア」、「まてまて」、あそびは、少しずつ「予想」する力が育ちます。

絵本は、自分のペースでページをめくりながら何度も繰り返して見ることができ、「りんごだね」「お風呂ジャブジャブたのしそう」と日常生活と結びつけてもあそべます。また、食べ物の絵を見て「おいしそう」と想像して食べる真似をします。身近な物が出てくるおはなしから、ストーリーをワクワクしながら楽しめるようになってきます。

テレビの中のおはなしもありますが、一方的に画像や声が出てくるので、子どもは何もしなくていいわけです。受身で一方通行になりがちなので、見せ方を工夫しましょう。

